

チャレンジコース（3年目）

団体名： 房総アワビ移民研究所

代表者： 鈴木 政和

◆ 団体の概要

明治期に南房総から渡米し、カリフォルニア州モンレー湾域で活躍したアワビ漁師たちに関わる歴史調査や日米交流を通して、安房地域の豊かな歴史文化を広く語り継ぎ、人びとの誇りを育み、まちづくりに寄与する。

所在地：南房総市千倉町千田（千倉地区）

会員数：7名（令和4年3月現在）

【事業名】

房総アワビ漁師移民の古文書研究と漁村文化のまちづくり

【事業の目的】

古文書の発見から埋もれた地域史を掘りおこし、漁村の歴史文化を顕彰し、広く語り継ぐことを通して、住民の誇りを育み、持続可能な地域教育とまちづくりを進める。

【事業の概要】

- ・米国で10年活躍の後に帰国し、安房の水産界や教育を牽引した小谷仲治郎の旧宅（千倉町千田）から見つかった明治期の資料を解説・分析し、データ化・目録作成し、調査研究を深めた。目録は約530枚完了。
- ・渡米したリーダー小谷兄弟の実家の海産物問屋「金澤屋」（白浜町根本）のに関わる書簡が多く、水産業近代化において果たした役割など重要な歴史が判明し、渡米に至る背景が明らかになりつつある。
- ・研究チームを発足し、学習会で理解を深めるとともに、市民向けのウォーキングやパネル展示会を開催し、研究成果を広く周知した。
- ・10万字におよぶ報告書を作成した。
- ・日米オンライン報告会を開催し、米国側の研究者や小谷家の子孫と情報共有・交流を深めた。
- ・日米報告会をYouTubeで配信し、プレゼン資料やパネルをデジタルパンフレットにしてHPで公開した。

<古文書調査の報告書>

明治期に渡米した鮑漁師たちの源流
～源之助・仲治郎兄弟と金澤屋の人びと～
目次

1. はじめに～明治の長尾村根本
2. 海産物問屋・金澤屋と『長尾村誌』
3. 根本で始まった潜水器採鮑漁と森一族
4. 「慶應幼稚舎」で学ぶ源之助と横浜・清水屋
5. 乾鮑製造と小浜「器械根」の採鮑漁
6. 清国との海産物貿易と水産伝習所創設
7. 金澤屋と海産物商人～萬屋・伊豆屋・石福
8. 水産伝習所で学ぶ仲治郎～明治23-24年
9. 金澤屋を支えていた人びと
10. 佐渡の森知幾と源之助の活躍
11. 源之助の「逃亡」事件とよばれた出来事
12. 磯焼けと根本での調査・「あわび研究」
13. 源之助・仲治郎兄弟が渡米にいたるまで
14. 金澤屋の女性たち
15. 明治女学校のひでと画家倉田白羊
16. 清三郎の死去と仲治郎

【活動写真】

日米オンライン報告会
通訳を介して古文書調査に
ついて報告

